

UNIT FOR GOOD

よいことのために手を取り合おう

2025～26 年度年度

国際ローター会長 Francesco Arezzo

Rotary
東京麹町



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 6 回例会 2025.9.1 (#2456)

舞の間

例会ホスト・紹介係 浅野会員

受付係 乳井会員 加賀会員

司会者 濱田会員 ソングリーダー 保科会員

卓話 「委員長スピーチ」

保科公共イメージ向上委員長 齊藤 R 財団委員長

須藤衛星クラブ担当委員長

前回の報告

第 5 回例会 2025.8.25 (#2455)

舞の間

例会ホスト・紹介係 山内会員

受付係 荒川会員 須藤会員

司会者 末竹会員 ソングリーダー 濱田会員

卓話 「イニシエーションスピーチ」

青山 圭介会員(4/1 入会 荒川会員紹介)

今期のモットー: 「より高みを目指して」

会長報告

- 1) おひさしぶりでございます。みなさまには夏休みを楽しまれた事と存じます。本日は4月に入会された青山会員のイニシエーションスピーチです。18:00からは歓迎会も御座います。後程よろしくお願ひします。
- 2) 米山奨学会より感謝状が届きました。吉沢会員に4回目の功労者賞、クラブに27回目の功労賞(クラブからの累計寄付が2700万円を越えているという事となります。)皆様にも特別寄付のご協力をお願い致します。

幹事報告

- 1) 今夕は、新入会員歓迎会が18:00～ 維新號にて開催致します。御集りください。
- 2) 10月6日に開催予定の食味会のご案内を配布致しました。人数制限がございますのでお早めにお申し出ください。

ロータリーの友 8月号 P10～11 に若林 PG の戦略的オープン例会 10 のポイントが掲載されています ～戦略的オープン例会で”仲間”を増やす～

戦略的オープン例会とは、単にゲストを招く例会ではなく、ゲストが居心地よく過ごせるよう緻密に計画された例会のことです。ゲストの情報を事前に共有し、会員が役割分担して温かく迎える、卓話や座席も配慮するフォローアップを徹底するなどー 会員増強と会員維持はクラブの活性化につながります。仲間を増やし一人も退会させない努力を続けるには「愛情」が欠かせません。会員はロータリーの宝です。仲間を増やし守り抜く為に戦略的オープン例会を取り入れましょう。

例会記録

会員総数 60名 出席会員数 22名

ゲスト 0名 ビジター 1名

その他 0名 海外ビジター 0名

事務局 3名

ニコニコボックス

内田会員: 納涼会の盛会を!

新保会員: 細谷会長、ありがとうございます

若林会員: あちらこちらで卓話をしています。

昨日は群馬・前橋からの帰り土砂降りでした

齊藤会員: 万博へ行ってきました

園田会員: 先日はお忙しい中、高瀬さんの

お見送りにお越しいただき心より感謝申

し上げます。無事お見送りを行うことがで

きました。

加賀会員: 交換留学生の高瀬さんは8/20

に無事渡米しました。お見送り頂いた皆様

ありがとうございました。

次回予告

第7回例会 2025. 9. 8 (#247)

会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 杉山会員

受付係 藤田会員 莊村会員

司会者 濱田会員

ソングリーダー 保科会員

卓話「未定」

原一探偵事務所 大原千晶氏

紹介者 細谷会員

各委員長挨拶

鈴木健治職業奉仕委員長

私は建築設計を職業といっているので、専門性を活かし地域社会への実践的貢献と、若年層への職業教育を通じてロータリーの職業奉仕理念を体現していきたいと考えています。会員同士でもお互いの職業活動を気軽に知る機会をつくりたい。会員同士の職業紹介・情報交換をかわせる場を作りたい。個人的には、建築設計を通して地域へのゆるやかな建築サポート(まちづくりや建築相談等)を考えている。

キャッチコピーは「できるときに、できることを、できる人で」

スローガンは「地域と若者とクラブの仲間を建築の力で優しくつなげる」

私自身が大切にしている「誠実さ」や「丁寧さ」といった姿勢をロータリーの「四つのテスト」の精神に重ね、無理なく自然体で行動していきたいと考えています。

植芝充央社会奉仕委員長

社会奉仕委員会としては、3つの目標を掲げました。

- 1, ひとり親世帯・しんぐるまざーずふぉーらむへのお米支援の継続
- 2, ポリオ根絶プロジェクトの実現
- 3, 自然災害被災地支援

どれも皆様のご協力がなければ実現できません。日々過ごされている中で、何か楽しいこと、各行事等に関わらずニコニコ box のご寄付を宜しくお願い致します。それぞれの活動の原資になります。

ポリオ根絶チャリティー公演は2月10日のライオンキングの観劇を計画しております。1枚でも多くのチケットをお買い上げ下さい。

おりおりご案内申し上げますので宜しくお願い致します。

山内美穂子国際奉仕委員長

前年からの活動を継承してまいります。

- ・モンゴルウランバートル Peace Avenue RC との関係を更に構築する
- ・インドネシアからの来訪者の接遇(10月の予定)
- ・ヌサドゥア RC との交流維持と発展(高校生大学生の奨学金プロジェクトの拡大)

入会して間もないので、欲張らず、無理なくできる範囲で活動して参ります、宜しくご指導ください。

園田悠子青少年委員長

昨年より、サポートしてまいりました高瀬咲妃さんが8月20日に渡米致します。渡米中のマンスリーレポートなどを把握して、高瀬さんがスムーズに学生生活を謳歌できるようサポートしてまいります。青少年関連活動につきましては他クラブとの連携をはかり若い世代の青少年社会人を支援してまいります。東京麹町ローターアクトクラブについては、活動はほぼ休止状態ですが、メンバーと連絡を取り再活性化を促したいと思っています。

不慣れではございますが、皆さまにご教示いただきながら活動して参ります。

吉沢米山委員長

中国からの陳 好(チン ユ)さんをサポートしております。お茶の水女子大学のジェンダー社会科学を専攻しております。陳さんには例会に出席してもらい皆様と交流してもらおうようサポートしたいと思っています。

米山奨学会への普通寄付は皆様のお会費から送金しておりますが、特別寄付も宜しくお願い致します。

クラブだより No.6

『多数ご参加下さい』

10月6日(月)18:00~

食味会@ブルガリ東京 プライベートダイニング

☆ミシュラン三ツ星シェフ監修の特別メニューをお楽しみください。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	細谷 彬	FAX:03-3263-9122
幹事	木寅 雅之	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp

マダガスカル赴任報告：子どもの栄養改善のために奮闘した日々

2016-17 年度青少年交換派遣生 木村奈穂



東京麹町ロータリークラブの皆様、ご無沙汰しております。木村奈穂です。私は、2016-17 年度青少年交換派遣生として、東京麹町ロータリークラブの皆様にごホストクラブとしてお世話になり、アメリカ・ペンシルバニア州で高校 2 年生から 1 年間を過ごしました。その後、上智大学を卒業し、アメリカ・ワシントン DC のジョージタウン大学大学院で紛争解決修士号を取得し、2024 年 10 月から国際 NGO セーブ・ザ・チルドレンのマダガスカル事務所で勤務しておりました。マダガスカルへの赴任前は、例会にも参加させていただき、皆さまから励ましのお言葉を頂戴したことを心より感謝しております。

【マダガスカルでの仕事内容】



セーブ・ザ・チルドレンは、世界 113 カ国で子どもの命と権利を守るために活動する団体です。2023 年には、世界中で 4 千 700 万人以上の子どもに支援を届けました。私が勤務していたマダガスカル事務所には、約 80 人の職員がおり、複数の地域で子どもの保護・教育・栄養・保健分野の支援を行っています。

私は、国内で最もサイクロンに脆弱かつ栄養不良児の割合が他地域よりも多い南東部のマナンジャリー郡・ヌシヴァリカ郡にて、子どもの栄養改善事業を担当し、活動実施や資金管理の全般を統括していました。

農家への技術研修に使う種子の視察

この地域の 8 割以上が農業従事者ですが、十分な技術支援が受けられず、作物の生産性が低いという課題に直面しています。そこで、農家に対して収穫量を増やす技術や野菜を含めた多品目の農作物の栽培、家畜管理について研修を行いました。農業の生産性が向上することで、各世帯が栄養価の高い食品を十分に入手できるようになり、子どもの栄養不良の予防にもつながります。



また、地域での栄養改善活動の担い手として、母親と父親に対して衛生習慣や栄養知識に関する研修を実施しました。医療施設へのアクセスが難しい地域では、研修を受けた養育者が手洗いの重要性や栄養価の高い食事の工夫を地域に広め、他の養育者の相談役として子どもの栄養不良の予防体制作りに重要な役割を果たしています。

【マダガスカル 9220 地区のロータリークラブ 2 つと旗を交換しました！】



左：元会長、右：黒川さん(イバンジ RC)

首都アンタナナリボのイバンジ・ロータリークラブに長年所属され、マダガスカルで旅行代理店を営んでいらっしゃる黒川廉さん（建築家の黒川紀章さんの甥っ子さん）のご厚意で、2 つのロータリークラブとバナー交換をする機会を頂きました！

上記の写真は、黒川さんが所属されているイバンジ・ロータリークラブの元会長の女性（約 20 年マダガスカル大統領を務めたラツィラカ元大統領の姪っ子さん）に、イバンジ・ロータリークラブと東京麹町ロータリークラブのバナーを交換してもらった様子です。イバンジ・ロータリークラブは、井戸の設置や、経済的に困窮する住民への食料配布、学用品の配布を積極的に行っています。また、同じく首都にあるマハマシナ・ロータリークラブともバナーを交換させていただきました。



【9 月からはレバノンでパレスチナ難民の支援に従事します】

実は、セーブ・ザ・チルドレンを 8 月末で退職し、マダガスカルから離れました。そして、9 月からは国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)という国連機関のレバノン・ベイルート事務所で、パレスチナ難民の支援に携わります。今回、マダガスカル出国からレバノン渡航までの期間がとても短く、残念ながら東京麹町ロータリークラブの皆様にご挨拶させていただくタイミングがなかったことをお詫びいたします。次は、ぜひレバノンからまたご報告させていただきます。今度日本に一時帰国する際には、例会などの場でお目にかかれまして大変嬉しく思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。